



ごあいさつ

兵庫県医師会男女共同参画推進委員会委員 宮本 由紀子
県医師会男女共同参画推進委員会委員になって9年目を迎え順番に寄稿との事になりました。

私が、ジェンダーを意識する様になったのは20歳位であろうかと。其れ迄は男女差など気にせず、学生運動にも少し首を突っ込み、産婦人科臨床に携わるうち、胎児学に興味を持ち、受精卵から男女に分かれるには、精子のXY染色体・SRY(性決定遺伝子)・男性ホルモン作用等が絡むが、元は1単細胞、同じとの思いでした。が、結婚・妊娠・分娩・育児・介護をほぼ終えた今その男女差の大きさを実感しています。ところで、コロナで社会のAI化は急に進んでいますが、AIでは性差は入力者の意向・数・量で出てくる可能性は有るのでしょうか？電子国家エストニア(行政の99%がネットオンライン化)での女性大統領の活躍などには期待や興味が尽きません。取り敢えず、コロナには男女共同参画でないと勝てそうもないです。当委員会では現在その辺りのことについての検証を行っており、まとまれば何かの形で発表したいと思っています。

女性医師の会入会案内

名称は「女性医師の会」ですが、男性医師の入会も歓迎致します。女性医師が働きやすい環境とは男性医師にとっても働きやすい環境ではありません。一緒に考えていきませんか。入会を希望される方は入会申込書を県医師会ホームページに掲載していますので、必要事項をご記入の上FAX(078-231-8111)またはメール(w-entry@hyogo.med.or.jp)でご送信下さい。

★女性医師の会の年会費は無料です★

イクボス大賞

兵庫県医師会では、男女とも仕事と生活の両立を達成できるよう、部下のワークライフバランスとキャリアの継続に配慮し、良好な職場環境の構築に貢献している上司、管理職をイクボスと呼び、平成30年度よりイクボス大賞を創設して表彰しています。「この先生こそイクボス！」と思わ

れる方を是非推薦して下さい。応募期限は4月9日(金)、表彰は7月10日(土)開催のフォーラムで行われます。(COVID-19の感染状況によって開催中止となる可能性があります。)

医師の職場環境に対するアンケートについて

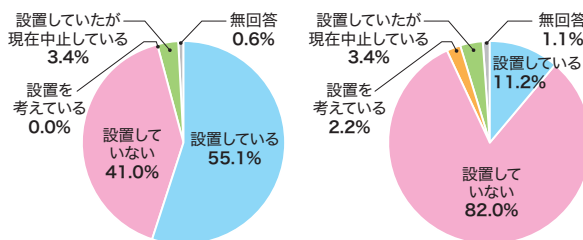
兵庫県医師会男女共同参画推進委員会では県内病院の施設長と勤務医に向け3年ごとに医師の職場環境についてアンケートを行っています。(前回は平成29年)

令和2年に行ったアンケート結果について報告します。

●施設長へのアンケート

(保育所・託児施設、病児保育制度、育児短時間正職員制度、育休制度について)

1. 大学病院、38の公的医療機関、6の行政機関、129の私立病院、その他の計178名より回答いただいた。平成29年の前回の118名より回答数は大幅に増えた。
2. 保育所、託児施設の設置は55.1%(前回62.7%)と前回より減少、職種や常勤、非常勤による利用制限なしは78.6%(前回83.8%)と大きく変わらず病児保育の設置についても11.2%とほぼ変化はなかった。



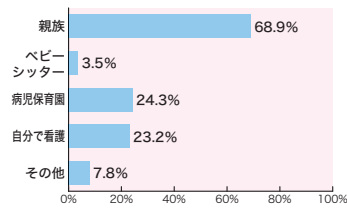
●勤務医へのアンケート

(勤務中の保育、病時の保育、宿直がある場合や時間外の保育、宿直明けの勤務体制、育休制度の利用、休職・離職経験、女性医師の職場環境、女性医師再就業支援について、など)

1. 男性667名、女性507名の合計1178名と前回816名より回答数は大きく増加した。
2. 勤務形態 男性 常勤86.7% 女性 常勤78.7%と高い比率であった。
3. 病時の保育は 親族68.9%(前回55.1%) 病児保育24.3%(17.5%) 自分で保育23.2%(17.8%)と親族に頼る割合が増えており、同時に病児保育での

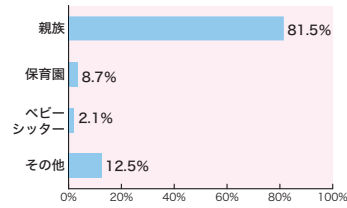
割合とともに、自分でみる割合も増えた。まだ社会的な支援が不十分と考えられた。

4. 宿直、時間外の保育は親族が80%を担っており、3年前とかわっていない。



宿直や時間外勤務は親族の助けがなければむずかしいといえる。

5. 育休の利用 男性は9名/667名にとどまった。



6. 女性医師に対する職場の理解については改善と回答した割合は前回とかわっていない。

7. 常勤医師と非常勤医師で回答が大幅に異なった質問は、「従来に比べて女性医師の職場環境、配慮は改善したか？」

「改善した」は常勤医師 28.9% に対し、非常勤医師 42.2% で、非常勤医師のほうが実感しているようである。全体としては前回と変化はなかった。

8. 研修医42名の回答で特筆すべき点は、医師会の女性医師支援事業についてほとんどが知らないと答えたことである。

総括：今回アンケートの回答数は増加した。男女共同参画推進委員会の活動が広く知られるようになったと考えられる。イクボスの表彰や病院訪問などの活動が実を結んだのではないだろうか。

しかしながら出産育児に関する女性医師を取り巻く環境は3年前とほとんど変わっていない。あいかわらず親族に頼らなければ宿直や時間外の勤務は困難であるなど、まだまだサポート体制が不十分であると考えられる。今後も女性医師を含めた医師全体の職場環境が変わっていくことを期待したい。

(文責 大内佐智子)

映画「一粒の麦 ～荻野吟子の生涯」 ～日本初女性医師の誕生物語～



荻野吟子先生

出展元：熊谷市教育委員会

全ての医者が男性であった時代に、屈辱的な大学病院での診察を経験した吟子は、女性医師の必要性を身を以て感じました。医学校への入学、国家試験受験も阻まれながら、日本の女性医師第一号となりました。その苦労の歴史の上に、今私たち女性医師が活躍できる舞台が繋がっているのです。この映画をぜひ会員の皆様にご覧いただき、女性医師である私たちが現在進むべき方向に一筋の光を探してみたいと思いました。医師であり、またキリスト教者でもあった吟子の生涯は医療と福祉の両面から学ぶところ満載です。

3月に映画観賞会を企画したのですが、コロナ

禍で実現しませんでした。また機会をみてぜひ再企画したいと思っています。お楽しみに。

(文責 大江与喜子)

講演会等での託児サービス

県医師会・郡市区医師会が主催の講演会等では、託児ルームの場所代やシッターの委託料を日本医師会に全額補助して頂けます。開催者は託児希望の有無をご確認の上、県医師会または郡市区医師会に申請して下さい。育児中の医師が十分に研修を継続できるように、ご協力宜しくお願い致します。

女性医師支援窓口

出産・育児・介護・復職・転職・再研修・勤務環境・その他悩み事をお持ちでしたら、県医師会の先輩医師がご相談にのります。ご相談内容の情報は相談事業以外には使用せず、個人情報保護は厳守させて頂きます。ホームページに案内と申込用紙を掲載していますので、お気軽にご相談下さい。

●相談受付

電話：078-231-4114 月曜日と火曜日
午前9：00～12：00

F A X：078-231-8111 随時受付

E-mail：josei-ishi@hyogo.med.or.jp 随時受付

面談：要予約

離・退職中の医師の再就業支援

離・退職されている医師で、復職前に再研修を希望される方は、研修終了後は県内の医療機関に勤務して頂くことを条件に、無料で約80時間の病院研修を受けて頂けます。

ベビーシッター費用の一部負担

子どもの急な発熱や時間外勤務でベビーシッターを利用された際は、その費用を一部負担致します。条件等詳しくは県医師会にお問合せ下さい。

兵庫県医師会男女共同参画推進委員会

大江与喜子 大石麻利子 大内佐智子 宮地 千尋
宮本由紀子 木村 智子 林崎 緑 小林 成美
上月 清司 奥窪 明子 後藤 倫子 岡田 祥敬
山本 房子 奥田真珠美

担当役員

鈴木 克司 橋本 彰則 小野 一広 阪上 雅史
相馬 葉子

〒651-8555

神戸市中央区磯上通6-1-11 兵庫県医師会内

電話 078-231-4114 FAX 078-231-8111